



R3年度栄養方法の内訳



	退院時			2週間健診			1ヵ月健診		
	母乳栄養	混合栄養	人工栄養	母乳栄養	混合栄養	人工栄養	母乳栄養	混合栄養	人工栄養
R3 初産婦(総数 194名)	8.2%	90.7%	1.0%	18.6%	78.4%	3.1%	27.8%	66.0%	6.2%
R2 初産婦(総数 157名)	17.8%	78.3%	0.6%	29.9%	64.3%	2.5%	32.4%	60.5%	5.1%
R3 経産婦(総数 218名)	21.1%	78.0%	0.9%	39.0%	60.1%	0.9%	47.2%	49.5%	3.2%
R2 経産婦(総数 164名)	27.4%	68.9%	1.8%	35.9%	55.5%	3.0%	37.2%	51.8%	6.1%
R3 全体(総数412名)	22.7%	73.5%	1.2%	33.0%	59.8%	2.8%	34.9%	56.0%	5.6%
R2 全体(総数321名)	15.0%	83.9%	0.9%	29.3%	78.4%	1.9%	38.1%	57.2%	4.6%

❀ 母乳栄養について ❀

- 毎年、母乳栄養について、退院時、2週間健診時、1ヶ月健診時で確認を行っています。
- 初産婦さんの母乳率は昨年と比較し低下。反してミルクや混合栄養の割合は増加傾向です。背景としては、昨年のに引き続きコロナ禍での出産や育児を余儀なくされ、周辺からのサポートを得られにくく夫婦のみで育児をしなければならない場合等も増えたことも影響していると考えられます。
- 経産婦さんの母乳率は2週間健診、1ヶ月検診では増加傾向ですが、混合栄養の割合が高くなっています。今後も入院から健診まで、ご本人様の希望する授乳方法が実施できているか把握し、サポートしていきます。
- 全体の母乳率は、退院時と2週間健診時は増加しているものの、1ヶ月健診では低下しています。
- 人工乳の割合も増加傾向です。ミルクを選択する理由は様々ですが、退院時から1ヶ月健診まで少しずつ増加していることから、退院時は混合栄養ですが少しずつ完全ミルクへ移行していった場合もあり、ママ自身のご希望に添えているのか、今後も着目して支援していく必要があります。
- 今回の統計時もコロナ禍での出産や育児が影響を与えたと想定できます。周囲のサポートが思うように得られず自分の思い描いていた授乳が確立出来なかった場合も多くあったと考えられます。バースプランの段階では、依然として少しでも母乳を与えたいと感じるママが多く、当院でもご希望される授乳が出来るようにサポートを行っています。今後もそれぞれが納得出来るような授乳方法を選択、確立出来るように継続支援を行っていきたいと思います。